

司書のつぶやき
ほ、ん、ま、かいな!
～こんなもの作ってます!のまき～

図書館内をよく見ると、画用紙や折り紙による手作りのものが多いことに気が付きませんか?
そう、図書館職員&アルバイトがコツコツ丁寧に作っているのです!
では、その中の一部をご紹介します!

約300枚の帯を作りました…!

利用カード入れにもなります!

本の杜への招待状

※2歳児健診の際にお配りしています

真似できないクオリティ!

おすすめ本の展示の帯

※各館を2カ月ごとに巡回展示中です

注目!

ロマンティックな光に包まれる…

たかね図書館のスタンドグラス風飾り

このほかにも、各館に力作がたくさんあります。来館の際はぜひ図書館内を見渡して、手作りのものを探してみてくださいね!

ライブラリーはくしゃの壁飾り

とじだせ! 北杜市図書館を拠点に活動中の図書館ボランティアを紹介～

としょかんボランティア

第14回 岡野則夫さん

岡野さんは市内各図書館の壊れた本や傷んだ本を修理しています。

人気がある本は多くの方が手にするので、表紙や頁が傷みやすく、バラバラに外れたりします。修理は、一度製本前の状態に戻してから、外れたページの糊付けや糸綴じをするなど、本格的な作業をしています。

岡野さんの高度な技術で、修理の跡が感じられないほど、自然な仕上がりになります。

週2回金田一春彦記念図書館の一角で作業をする岡野さん

修理道具

表紙の色調に合わせた花布と葉を選び糊付けはなされ

北杜市図書館ではボランティアを募集しています。興味のある方は、お近くの図書館までお問い合わせください。

ばらばらになつた頁の糸綴じ

北杜市図書館 北杜市図書館総合情報誌

やまね便り

60号

特集 2017年は酉年!

十二支の出てくる本

あの人に会いたい

杏林大学外国語学部教授
金田一秀穂さん

司書のつぶやき
ほ、ん、ま、かいな!
～こんなもの作ってます!のまき～

とじだせ! としょかんボランティア

第14回 岡野則夫さん

職場体験Part1
～市内の中学2年生が図書館で職場体験を行いました!～

表紙: ぶっくまん × 『かざじぞう』

職場体験 Part1 ～市内の中学2年生が図書館で職場体験を行いました!

体験場所: ライブラリーはくしゅう

白州中学校 生井 雄太さん

Q1. 職場体験の感想・印象に残ったことは?

みんなとても優しくしたこと! まだなれない部分もあったし、本の重さがとても重いということがわかりました。

Q2. 職場体験に図書館を選んだ理由は?

コミュニケーションの大切さや本の大切さを知るために図書館にしました。

Q3. おすすめの本を教えてください!

【天女銭湯】
絵本ってこんなにもおもしろいんだと思った。水風呂が好きな女の子と天女のストーリーが、何度も見たいくらいとてもおもしろい。
『天女銭湯』
ベク・ヒナ/作 長谷川義史/訳
プロダクション新社
所蔵館: はくしゅう

体験場所: 金田一春彦記念図書館

泉中学校 三島木 勇哉さん

Q1. 職場体験の感想・印象に残ったことは?

本の片づけがとても大変でした。でも、お客さんを接客して、「ありがとう」と言われたのがうれしかったです。

Q2. 職場体験に図書館を選んだ理由は?

本の整理とかをして、本の仕事を一度してみたいからでした。

Q3. おすすめの本を教えてください!

【ハリー・ポッターシリーズ】(全7巻)
ハリーの生きざまがとてもおもしろいからです。
ハリー・ポッターと賢者の石
J.K.ローリング/作
静山社
所蔵館: 全館

体験場所: ながさか図書館

小淵沢中学校 杉山 萌花さん

Q1. 職場体験の感想・印象に残ったことは?

お客さんには、わからないようなことをたくさん知っていてびっくりした。

Q2. 職場体験に図書館を選んだ理由は?

色々な種類の本がたくさんあったから。

Q3. おすすめの本を教えてください!

【ヒカルのお】
食べることや生きることの素晴らしさがわかるから。
ヒカルのお
森沢 明夫/著
徳間書店
所蔵館: ながさか・はくしゅう

とりどし
2017年は酉年！

じゅうにし 十二支の出てくる本



十二支のはじまりが
わかりやすく学べる本
『十二支のはじまり』

いもとようこ/文・絵
金の星社
所蔵館：小淵沢



十二支のはじまりを
知るための定番の一冊
『十二支のはじまり』

岩崎京子/文
二俣五郎/画
教育画劇

所蔵館：明野・すたま・ながさか
金田一・はくしゅう・むかわ



荒井良二さんの絵と
十二支のゆかいな物語
『十二支のはじまり』

やまचाずひろ/文
荒井良二/絵
小学館
所蔵館：金田一
はくしゅう



中国の昔話をもとに描く
十二支の物語
『どうして十二支に
ネコ年はないの？』

ドリス・オーゲル/文
メイロ・ソー/絵
福本友美子/訳
徳間書店
所蔵館：金田一



酉の本

にわとりや
その他の鳥が
出てくる本を
紹介しているよ



豆知識
にわとり
のときが
赤いのは、
血管が
集まっている
からだよ！

いろんな鳥の鳴き声を
真似したくなる！
『こけっこー』

林 木林/作
西村敏雄/絵
鈴木出版
所蔵館：明野
ながさか



読めば不思議と
にわとりに会いたくなる！
『にわとりのおっぱい』

山本省三/作
講談社
所蔵館：むかわ



キジに恋した、けなげな
にわとりの話
『カンテクレール』

ヨー・ルーツ/作
フレート・フィッセルス/作
エレ・フレイセ/絵
久保谷洋/訳
朝日学生新聞社
所蔵館：明野・金田一



読みたい本を近くの図書館に
とりよせることもできるよ



豆知識
鳥には
9000以上の
種類が
いるよ！

へんてこな鳴き声が
可愛らしくておもしろい！
『あきちゃった！』

アントワネット・
ポーティス/作
なががわひろ/訳
あすなろ書房
所蔵館：すたま



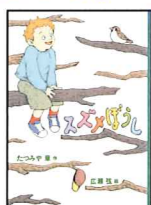
芸人・太田光さんの原作と
美しい影絵の世界
『絵本マボロシの鳥』

藤城清治/影絵
太田光/原作・文
講談社
所蔵館：ながさか
金田一



ぼうしをかぶったら
スズメになっちゃった！
『スズメぼうし』

たつみや章/作
広瀬弦/絵
あかね書房
所蔵館：明野
すたま



初笑いにおすすめ、十二支を
お題にした小噺絵本
『十二支のどうぶつ小噺』

川端誠/作
B L 出版
所蔵館：むかわ
ながさか



川端誠さんの描く、十二支と
お節にまつわる物語
『十二支のお節料理』

川端誠/作
B L 出版
所蔵館：明野・たかね・すたま・
ながさか・金田一・小淵沢



小さくても大活躍の
ねずみくんのおはなし
『ねずみくん
ぼくもできるよ！』

十二支キッズのしかけ絵本シリーズ
きむらゆういち/作
ふくざわゆみこ/絵
ポプラ社
所蔵館：すたま



十二支の楽しい早口言葉
声に出して言ってみよう
『十二支のはやくち
ことばえほん』

高畠純/作
教育画劇
所蔵館：小淵沢・はくしゅう



あの人に
会いたい

杏林大学外国語学部教授
金田一 秀穂さん

「金田一春彦ことばの学校」の授業で、毎回日本語のおもしろさや奥深さを伝えてくれる秀穂先生にお話をうかがいました。

ことばの学校に思うこと

今は、塾でもなく寺子屋でもない
学びの場が求められている気がしま
す。そういう意味で「ことばの学校」
は先駆けだったかもしれません。

以前は情報を発信するだけでよか
ったけれど、タダで勉強したい人、
考えたい人、理解したい人、何かを
知りたい人、そういう人たちが集ま
って、適当な人数で、一緒に空間を
共にし、一緒に考える。そういうこ
とで人と人とが伝達しあう。言葉が
生きているような気がします。でき
れば、聞く人と話す人との距離がも
っと縮まるといいですね。

本だからこそできること

僕は子どもの頃、客観的な事実を
網羅した辞典や図鑑、資料、時刻表
が好きでした。特に人名辞典が大好
きで、誰についての項目が一番多い
かを行数で調べていました。自由研
究に近くて、わりとおもしろかった
です。人名辞典ひとつでも、いろい
ろ調べることができる。出身地や時
代を全部あげて、どこが多かったか
を調べてみるのもいいですね。

今はインターネットでいろいろな
ことができるけれど、ネットでは行
数を調べることができません。紙の
本でなければできないようなこと、
アイデアがいくらでもあるような
気がします。

本を読むことは当たり前のこと

父親は仕事柄、本を読むことに熱
心でした。子どもの頃、その姿をい
つも見ていたので、本を読むことは
ごはんを食べることと同じように当
たり前のことだと思っていました。
ただ、本はよく読みましたけれど、
父親と一緒にキャッチボールをする
ことはありませんでしたね。

その頃読んでいた本といえば『三
国志』でした。ヒーローみたいな強
い人がいて、賢い人がいて、史実だ
けど物語みたいで魅力的でした。子
どもにもわかりやすく、おすすめ
ですね。

聞き出す力って大事

僕たち教師っていうのは、図書館
の人と似ているような気がします。
相手が何を欲しがっているのか、今
必要なものは何か、それを聞いてあ
げる力が必要。「こんなのどう？あ
んなのどう？」と問いかけて、一体
この子は何が知りたいのだろうとい
うのを聞き出してあげる。そうする
と、「ああそうでした！私はこれが
好きなんです！」とわかってくれる
でしょ。それが図書館の司書の力だ
し、教師の力だと思います。



金田一春彦ことばの学校（4校時）
9月3日、須玉ふれあい館にて「第17回
金田一春彦ことばの学校」を開催。

4校時には、日本語学者の金田一秀穂
先生が北杜市内在住の外国人の方々と交
えて、日本語のムズカシさについて考え
る授業が行われた。先生の人柄と豊富な
知識に裏付けられたお話に、会場では笑
いや感嘆の声があがっていた。

番外編

甲州弁について聞いてみた！



印象は？

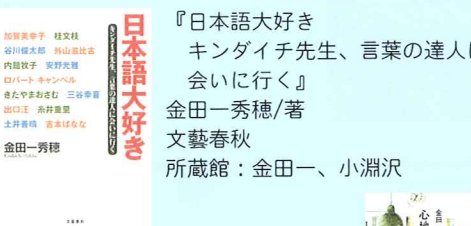
遠慮しないというか、カッコつけない
というか、とっても対等な感じでしゃべ
ってもらえて、親しみ深いことばという
感じがしました。自分が思った通りのこ
とをトントン言うけど悪意がない。素直
で実直な方言ですね。

エピソード

長坂の自動車教習所に通った時、教官
から「クラッチ踏んじょ！」「ブレー
キ踏んじょ！」って言われて、踏んでい
いか、踏んではいけないのか全然わか
らなくてとても困りました。ちょうど別
荘にいた父親に、方言の説明をしてもら
いながら、「それは、く踏むな」の意味
だ」と教えてもらった記憶があります。

著書『日本語大好き』について

『日本語大好き』では、今活躍し
ている人たちのいい部分が聞き出せ
たかなと思います。僕は自分が話す
よりも、人の話を聞くほうが好き。
谷川俊太郎さん、糸井重里さん、吉
本ばななさんなど大勢の人と話せて、
とても嬉しかったし、楽しかったで
す。



『金田一秀穂の心地よい日本語』
金田一秀穂/著
株式会社KADOKAWA
所蔵館：金田一



上記の他にも多数の著書があります。

